

例会報告

第2620回クラブ協議会・例会報告議事録

日時 令和2年9月29日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ビジター：なし

S.A.A.: 小池喜之

ゲスト：2790地区 漆原摂子ガバナー

2790地区 磯野典正地区大会実行委員長

2790地区 第11グループ 鈴木桂三ガバナー補佐

2790地区 第11グループ 森市直樹ガバナー補佐幹事

会長挨拶

村越会長



本日は国際ロータリー2790地区の漆原摂子ガバナーをお迎えしての公式訪問の例会です。それに伴い、いつもの例会場より広い会場で、久しぶりに円卓で皆さんにお食事をしていただきました。本当に楽しそうにお食事をされていて、ロータリーの良さは食事をする時間にあると改めて思いました。状況が許す限り、このような形で例会を運営していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

本来でありましたら川村学園女子大学の例会場で地区初めての女性の漆原ガバナーをお迎えする予定だったのですが、こういう状況下でこちらの会場になりました。が、こちらの会場も我孫子クラブが社会奉仕事業として昨年、一昨年と行った婚活パーティーの会場で、フリータイムの会場であり、なおかつカップル発表を行った会場であります。

その婚活パーティーですが、先週配られたガバナー月信9月号に昨年度の社会奉仕活動優秀クラブの表彰の欄に我孫子クラブが載っています。本来、地区研修協議会で表彰されるところだったのですが、リモートという形になりましたので、ご報告が遅くなりました。本当に思い出深い会場です。

本日午前11時から、ガバナーと今年度の会長幹事、来年度の会長エレクト、幹事エレクトと懇談会をさせていただきました。和気あいあいといろいろな話ができて、地区のことも聞け、我孫子のことも知っていただけたのではないかと思います。

本日は例会後にクラブ協議会もあり長丁場になりますが、是非よろしくお願いいたします。

出席委員会報告

前田委員長



24名（出席免除者含む）出席（全員で32名） 出席率75.00%

業務による欠席者：荒井会員、石原会員、梶会員、佐藤拓司会員、関根会員、堤会員、寺井会員、日暮会員、湯下会員

幹事報告

倉持幹事



- ・本日は漆原ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、お越しいただきまして、ありがとうございます。お世話になります。よろしくお願いいたします。
- ・本日は特に報告はございません。



今年度ガバナーを仰せつかっております勝浦ロータリークラブ所属の漆原摂子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はコロナ禍の中、ガバナー公式訪問例会を開催していただき、心より御礼申し上げます。また、この例会をセッティングしていただきましたガバナー補佐の鈴木桂三様にも感謝申し上げます。

村越会長のお話しにもありましたように、例会に先立ちまして懇談会をさせていただきました。

会長のクラブに対する真摯な思い、戦略計画も後程聞かせていただけるとのこと、また特別に感動しましたのは、ハワイのクラブと台湾のクラブ、2つのクラブと長年に渡って姉妹クラブ締結をされていることでした。5年ごとの周年行事にお互い行き来をされているとのこと、大変感銘いたしました。

こちらのクラブは年齢もバランスがよく取れていらして、やめる方が本当に少ないという会長さんのお話が印象深く残っております。

今年度は55周年とのことで、60年に向けて更なるクラブの活性化を祈念申し上げます。

今年の7月の初めに、私の名前と戦略計画委員会の名前を持ちまして、来年7月1日からの地区内のグループ再編につきましてご案内申し上げます。

こちらのグループには新たに野田のエリアの3つのクラブが加わります。暖かくお迎えいただき、新しい出会い、新しい交流、新しい親睦の扉を開いていただけるようなご準備をお願い申し上げます。

直近開催されましたRIの理事会において、いくつか強調事項が発表されました。RI理事会とロータリー財団委員会は今までの6つの重点分野に加えて7つ目の重点分野、環境の保全、を追加しました。

新しい重点分野はグローバル補助金によって実施される奉仕プロジェクトの新たな対象となり、この分野を専攻して海外で学びたいという学生さんへの奨学金が対象となります。

こちらの実施は来年の7月1日からとなります。詳細がわかり次第またご報告いたします。

つい先日、WHOはナイジェリアにおける野生間のポリオフリー宣言をいたしました。この活動に大きく貢献したとして、アメリカのタイムズ紙が毎年選出する世界で最も影響力のある100人の1人に、ナイジェリアのパストガバナーが選ばれました。

今年度RI会長であるホルガー・クナークさんをご紹介します。ドイツ人の方で、ドイツから初めての方です。最新のビデオメッセージが届いておりますのでご覧ください。

(ホルガー・クナークRI会長のビデオメッセージを上映)

冒頭でクナーク会長は日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしているとおっしゃいました。大変、日本の事情に精通されているRI会長とお見受けいたします。

自分自身の職業や活動を通して地域社会に貢献することは今も昔も変わらない大切な定義とします。

ロータリーが大切にしている親睦をベースに、ビジネス倫理や社会奉仕に対する価値観を共有できるような若い会員を引き入れ活動することは未来への基盤となるとおっしゃっています。

コロナ禍の中、困難を伴いますが、それは同時に、機会の扉を開くもの、今こそロータリ再生の時、改革の時であるとおっしゃっています。

コロナと共生し、新しい日常、ニューノーマルに適應することで、未来への備えにつながるということです。

クナーク会長はガバナーの公式訪問で次の4つを伝えるように強調されました。

今年の1月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催されました国際協議会で発表されたもので、その時はコロナのパンデミックを誰も予想しておりませんでしたので、内容に若干隔たりがありますが、RI会長の指示ですので見ていきたいと思います。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう

ロータリークラブはお金持ちだけが集まるようなクラブではないと思っています。ここ数年は、正会員として入るには年齢的にも、仕事の上でも、会費納入の面でもまだ余裕がないかなという30代、40代前半をターゲットとしたローターアクトクラブの拡充が言われており、地域活性につながるでしょう。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう

これもここ数年言われていることです。現在、コロナ禍で退会を余儀なくされている会員も微増

しています。有効なワクチンができあがるまではコロナと共生せざるを得ません。

各クラブは少なくとも年に一回は自分のクラブの現状を見つめ、中長期的なスパンでクラブの存続、活性化を考えていただきたいと思います。

3. 新会員を慎重に選びましょう

クラブ会長は会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った方を慎重に考えて入会していただき、一生涯ロータリアンでいていただく配慮が大切であると話されています。

ロータリーは毎年入会した人数とほぼ同じ数の人が自然減も含め退会している状況です。しかも現在はコロナ禍で会員のクラブ離れは平時より増えています。

コロナ禍で事業継続が厳しい会員の皆様におかれましては、昨年の規定審議会を経て、柔軟性が導入された標準ロータリークラブ計画への適応力を高めていただき、会員身分や出席に関する例外をクラブ細則に適応し、クラブに留まっていただくこともできます。今の大切なお仲間を失うことないようお願いいたします。

4. 世界ポリオデーに合わせたイベントを

ナイジェリアはポリオフリーになり、ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2国のみとなっています。しかしコロナ禍のため、ワクチン接種が従来通りにできず、発症者も微増しています。

しかし一方、ポリオ根絶のためにロータリークラブが築いてきた大規模なインフラは各国の医療機関でコロナ拡大防止のために利用してもらっています。つまりポリオ根絶のためのノウハウがコロナ禍で役立っているということです。

世界ポリオデーは毎年10月24日です。今年はコロナ禍のため外向きの活動は困難かもしれませんが、バーチャルな方法、三密を避けた方法等をご紹介します。

ポリオ根絶特別例会でポリオ根絶の動画を上映したり、ポリオに詳しい方に卓話をお願いしたり、バーチャル講演会、感染症やワクチンの専門家やポリオ経験者をお招きし、できれば一般の方も視聴できるようにし、オンライン配信をしていただくことができます。

「END POLIO NOW」と書かれた公式の赤いTシャツを着て、ご自分のSNS等に投稿してポリオ根絶を訴えることもできます。

東京の三鷹ロータリークラブさんが実施されるポリオ根絶チャリティーコンサートをオンライン配信されます。演奏の合間にポリオ根絶のご理解、寄付を促すそうです。

山梨県甲府市の甲斐ロータリークラブさんは従来、街頭で募金活動をされていたそうなのですが、コロナ禍のため今年はエコバッグを作成、販売し、利益はポリオプラス基金へ寄贈されるそうです。

いずれにしても、10月のイベントは皆様の健康安全を第一にご無理のないようお願いいたします。

また、ロータリーカードをお持ちでない方はぜひ申し込みの検討をお願いしたいと思います。カードで使用した金額の0.3~0.5%が自動的にポリオプラス基金へと寄付されます。詳細は地区のホームページでご案内しておりますので、ご検討お願いいたします。

それでは、今年度地区活動方針についてお話しします。

今年4月29日にYouTubeで配信しました地区研修協議会でも申し上げましたが、今年は日本の最初の東京ロータリークラブが設立されて100年目の節目の年になります。

「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を!」というスローガンをうたいたいと思います。

奉仕の理念は英語でThe Ideal of Serviceと言います。サービスという考え方を優しく解説したのが、RI事務総長を32年間務められたチェスリー R. ペリーさんです。他人を思いやり、他人のためになることをしようという考え方です。これを実践することは、先ほどのRIの4つの行動計画のローテーションのスタートになります。

その活動を目にした人々のロータリーに対する公共イメージが向上し、賛同し、仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がるはずです。

クラブ内では親睦を育むとともに、研修を通じてクラブの現状、ロータリーの過去、現在を学んでいただき、将来に備えて多様なアイデアを持って柔軟に対応できるように適応力を高め、奉仕の理念の実践に取り組むことです。

コロナ禍で通常のような行動が取りづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブの戦略計画を立てていただき、4つを展開し、多くの機会の扉を開き、クラブの質、規模ともに向上拡大するものと思っています。

クラブ会長さんにおかれましては、リーダーシップを発揮し戦略計画を立案していただきまして、この4つの行動計画を展開することをお願い申し上げます。

各委員長の皆様におかれましては、この図の中でそれぞれの地点でクラブ拡大のためのサポートができるかを考えていただけますようお願いいたします。

ロータリー財団委員会、米山奨学会委員会の委員長の皆様におかれましては、他人のためになることをするための寄付の推進、地域や世界でよいことをするための人材育成にご尽力いただきますようお願いいたします。

ロータリーは今こそ改革の時であるというクラーク会長のメッセージや、適応力を高めることの大切さ、未来への基盤となる多様な若い人たちを受け入れましょうと申し上げてまいりました。

一方、RIはロータリーの基本理念は普遍であると言い続けています。ロータリアンは事業や専門職および地域社会のリーダーであることに変わりはありません。

ロータリーの最も大きな特徴の一つである4つのテスト、五大奉仕部門にも変更はありません。

ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップにも変更はありません。

会員の皆様がロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために戦略計画を持って、世界でただ一つのクラブ細則を作ることが大切だと思います。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指します」これがロータリーのビジョン声明です。

ロータリーが大切に守り続けている普遍のものは、4つのテスト、ロータリーの目的、ロータリーの中核的価値観等です。これを基盤に、4つの行動計画、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」を実践していただくことで、ロータリーのビジョン声明の実現につながると信じています。

ロータリーはまず人づくりとよく言われます。他人を思いやり、他人のためになることをするという考えの前に、まず自分を思いやり、自分のためになることをすると置き換えてみましょう。これは決して利己的な考えではなく、まずは自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる、と捉えてはどうでしょう。

私としては、ロータリーって何?と問われたら、私自身です、といつか胸をはって言えるような人間になることを目指しています。

繰り返しになりますが、このコロナ禍の中、予定していた活動が思うようにできませんが、まずは自分を磨き、よいことをするための多くの扉を開いていただくご準備をお願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

開会の言葉

村越会長

漆原ガバナー、ありがとうございました。ここで一旦、例会を閉会いたします。以上を持ちまして2620回の例会を閉会いたします。点鐘いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金 額
村越会長	ガバナー公式訪問&クラブ協議会ありがとうございました。	1,000円
小野会員	ガバナー卓話ありがとうございました。	1,000円
上村文明会員	クラブ協議会おつかれ様でした。	1,000円
木村会員	ガバナー公式訪問 クラブ協議会おつかれ様でした。	1,000円
小池会員	ガバナー公式訪問 無事に終わりました。	1,000円
佐藤雅教会員	今週からやっと秋らしくなってきました。	1,000円
鈴木会員	ロータリーモーメントお話しささいただき感謝です。	1,000円
藤本会員	とても実りのあるクラブ協議会でした。	1,000円
依田会員	漆原ガバナーありがとうございました。 瀧日会員 鈴木会員 上村会員 ロータリーモーメント心にしました。	1,000円
米田会員	漆原ガバナー卓話ありがとうございました。	1,000円
当 日 計		10,000円
今期累計		148,000円

クラブ協議会



開会の挨拶 村越会長

今年度2回目のクラブ協議会を始めさせていただきます。前回は鈴木ガバナー補佐がいらした時に開催しまして、その際は各委員長の皆さんに本年度の活動方針を発表していただきました。その時も申し上げましたが、クラブ協議会とはクラブの活動について協議するための会員全員の会合です。疑問に思ったことや意見を積極的にご発言していただいて結構ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



ご挨拶 2790地区 漆原摂子ガバナー

クラブ協議会にお残りいただきまして、ありがとうございます。

通常のクラブ協議会では各委員長の皆様に発表していただいて、ガバナーが講評を申し上げるという段取りなのですが、今回はガバナー補佐を通しまして、ちょっと違う形をお願いさせていただきました。

と申しますのは、RIのガバナー公式訪問の折の推奨事項に、なるべく多くの会員さんと交わり、お声を聞いてくださいというものがあります。そこで、今回はまず会長さんから戦略計画委員会のお話を、そして多くの会員の皆様からご自分のクラブの利点欠点、ロータリーモーメント、心に残ったロータリー体験、こういったものをお聞きしたくてお願い申し上げました。とても楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。



ご挨拶 2790地区 第11グループ 鈴木桂三ガバナー補佐

柏西の鈴木でございます。本日は漆原ガバナーをお迎えしまして、3~5年後の我孫子クラブのあるべき姿について、会長による戦略計画委員会の発表、あるいはクラブの良い点、悪い点、そしてクラブの記憶に残る出来事等の発表をしていただきます。

国際ロータリーとロータリー財団の使命、目的に沿ったクラブ作りの方向付けができればと思います。有意義な会に是非していただきたいと思います。ありがとうございます。



戦略計画委員会報告 村越会長

我孫子ロータリークラブの戦略計画について発表させていただきます。ただ、理事会で承認いただいたわけでも、きちんとまとまっているわけでもなく、現時点での発表になることをお許しいただきたいと思います。

戦略計画の定義としては、ガバナーのお話にもありましたが、クラブが将来こうありたいというビジョンを描き、それに沿った目標と行動計画を立てるということです。

長期計画、中期計画と言われていたものがそれに当たるということです。

我孫子クラブとしては、昨年度、諸岡昨年度ガバナーのお言葉を受け、木村会長年度に戦略計画委員会を設け、昨年度の木村会長と藤本幹事、一昨年度の荒井会長と依田幹事、会長エレクトの私と倉持幹事エレクトの6人で、年に数回開催しました。

本年度は漆原ガバナーのご意向もありまして組織図の中に戦略計画委員会を入れさせていただきました。今年度の会長幹事、昨年度の木村会長、藤本幹事、来年度の依田会長エレクトと柳田幹事エレクトの6名です。

9月8日の例会終了後に今年度初めての戦略計画委員会を開催し、クラブの将来について話し合いました。まだ結論が出るような段階ではありませんので、これからも定期的に行なっていかなければいけないのかなとは思っています。

そんな中、私なりに考えた我孫子クラブの将来について、どうありたいか、どうあるべきかを発表したいと思います。

会員数については、財政面等を考えると40名前後がいいのかなと思います。ただ我孫子クラブの雰囲気よさを残すには数だけを考えてはいけないのかなと思います。我孫子の場合は以前から会員は慎重に選んでいます。35名くらいが理想なのかなと思います。

女性会員が今3名ですが、35~40名になったら女性会員が5名以上いるとクラブの雰囲気がよくなるのかなと思います。

私が大切にしたいと思っているのはロータリークラブの地域社会での立ち位置です。ロータリーを知らない人が圧倒的に多いです。ライオンズクラブさんとかは宣伝が上手ですが、ロータリークラブは表に出ない、奥ゆかしい、そこがロータリークラブのよさでもあります。広報公共イメージ委員会の活動で我々がしていることをアピールすることが大事なかなと思います。それによって入りたい人が増えるといいと思います。その一役を担う活動が社会奉仕事業だと思います。

社会奉仕活動である婚活パーティーは今年度も実施する予定です。11月15日を予定しておりましたが延期し、来年3月、4月くらいに実施できればと思っています。

ロータリークラブの社会奉仕活動として婚活パーティーが妥当なのかというご意見も会員の皆さんからいただいております。こちらも検討しながら、将来、国際奉仕の事業を実現したいと考えています。

今年度は藤本会員が地区の国際奉仕委員会に出向してくださっていますが、我孫子ロータリークラブは過去には先輩方が個人的にスリランカに幼稚園を建設したりとか、フィリピンで医療活動に従事したとか等たくさんありました。が、ここしばらく国際的な奉仕活動をしていなかったのもので、ぜひ我孫子ロータリークラブで国際奉仕の事業をやりたいと思います。準備を重ねて、5年後くらいにできればと考えています。

5年後のクラブ創立60周年は、きちんと式典をして皆さんにお知らせしたいと思っています。そのための資金的な準備、記念誌のための写真等の準備、会員を40名に近い体制にするために毎年1名ずつくらい増やすこと等が必要になると思います。

もうひとつ、組織的な計画も重要だと考えています。

今年度は私が会長を務めさせていただいており、来年度は依田会長エレクト、その次のノミニーは藤本会員と決まっておりますが、その先の会長も見越して、毎年、組織を作りながら会長を育てていくことも戦略計画かなと思っています。

戦略計画は毎年、見直していくものだと思います。

今回、戦略計画を発表させていただくにあたって、本気でクラブの将来を考える機会をいただきました。ともすれば、単年度で終わる会長ですので、その年度が無事に過ごせばいいかなと考えがちなのですが、クラブの将来を考える、話し合うことが大事だと実感しました。

会員歴の浅い会員の方も含め、クラブの将来を考えることを心がけていただくことが大切なのではないかと思います。



クラブの利点欠点について 直前会長 木村会員

本日は、コロナ禍の中、漆原ガバナー、地区大会委員長の磯野様、鈴木ガバナー補佐、森市ガバナー補佐幹事におかれましては、お忙しい中、本当にありがとうございます。

我孫子クラブの課題を考えてみたのですが、前々年度の荒井会長の時に我孫子クラブの課題を5つほどいただきました。

1. 新人メンバーの参加率が低い
2. 家族の出席率が低い

私の代で、夜間例会や親睦活動になるべく家族を連れてきてくださいとお願いして、かなり達成できたのですが、コロナの感染拡大というのがあり、ほとんど親睦活動ができませんでした。コロナが収束したらまた参加していただき、ロータリーを一番身近な人に理解してもらいたいと思います。

3. ロータリーへの理解

今年、研修委員長を任されましたので、1冊本を買ってロータリーの基礎をみんなで勉強していこうと思っています。来週の卓話で時間をいただく予定です。

4. 5. は婚活パーティー等の奉仕活動

新入会員の参加率が低い件ですが、簡単に入った方は簡単にやめる、来なくなるという傾向がありますので、参加が条件ということで入会していただかないと、入会したはいいけど例会に出てこれないということが起こってしまいます。

皆さんのご意見を聞きながら、クラブ運営ができればいいんじゃないかなと思います。

我孫子クラブは30代から80代の方まで非常によい雰囲気の中で活動ができていますので、この雰囲気をくずさずに今後、発展できればいいなと思っています。

私のロータリーモーメント



滝日会員

メイクアップという制度は考えてみれば大変な制度です。他人様がやっている会合に全く面識も紹介もない人間がいきなり参加できるということは考えられない。ところがロータリーのバッジをつけていると日本中どの例会でも、世界中のどこの例会でも参加できます。改めて考えてみると、すごい制度だと思います。

仕事柄、あちらこちらに出張し、いろんなロータリークラブでメイクアップをしてきました。その中で2つご紹介したいと思います。

ひとつは東京ロータリークラブです。1920年に日本で最初に設立されたロータリークラブです。341名の会員数でかなり大きな格式のあるクラブです。私の事務所から歩いて行ける距離なので昼飯がてら行ったことがあります。

驚いたのはビジターがめっちゃくちゃ多かったことです。外国人も非常に多く、同時通訳がついていたことも驚きました。

一番印象深かったのは会員の卓話でした。各分野のトップクラスの方たちなので非常に参考にもなるし、聞いていておもしろい。ホームページに卓話のスケジュールが載っていて、かなり面白そうな卓話がありますので、メイクアップに行かれるといいのではないかと思います。

もう1つはシカゴロータリークラブです。1905年2月23日にポール・ハリスが初めて設立したロータリークラブです。ホームページで調べて、例会の1時間前から扉が開いているとのことで30分くらい前に行ってみると、かなり会員が参加していました。

驚いたのは、奥にバーカウンターがあり、お酒が飲み放題だったことです。そこで飲み物を持って、皆さん立ったままで立食パーティーのように実に楽しそうにしていました。

役員のたすきをかけている人もいないので、会長さんが誰かもわからず、点鐘もありませんでした。時間が来たら会長がグラスを叩いて、皆さんが着席していました。4つのテストは斉唱していました。出席報告もありませんでした。

ロータリアンに与えられた特権でもあるメイクアップを皆さんも楽しんでいただければと思います。



鈴木会員

今、私の記憶にあるロータリーでの恵みある時間というのは思い出すと一人一人思い出しますが、皆、亡くなっています。

私は今年72歳になりますが、ロータリーに入ってたったの22年です。

10年前に塩毛会員が会長だった頃だったか、織田ガバナーという方がいらして、この方の話は本当に耳がダンボになるくらい、よく聞いていました。

彼が10年前に話してくださったことを少しお話しします。

織田ガバナーが小学校の頃に見たことです。とびきり厳しい棟梁と2人の10代の弟子。来る日も来る日も厳しく叱られながらも将来、立派な棟梁になろうとする若い弟子の姿に感銘を受けたそうです。こういう師匠と弟子の関係が職人としての誇り、職業倫理、職業道徳を育てたのではないかと語られました。

高度成長期に徒弟制度は影を潜め、大工志望の若者は工業学校へ進学するようになりました。工業高校や専門学校が職人の誇りを培う場になっているかどうかは甚だ疑問というお話でした。

職業奉仕とは、単に資本の論理、法の規制に則って正しく事を運ぶだけでは不十分で、法以上に高次元にある道徳律に従うことである。道徳律の源泉はよい心、良心に求められるとすると話されました。

最後に佐藤千壽さんのお話しをしてくださいました。

「氏はロータリーを学校に例えました。この学校には入学があっても卒業はありません。学べば学ぶほど楽しくなり、ロータリーの道は無限であることを知るに至るでしょう。最高善をめざす、人生の学校に卒業はない」と語られていることで結ばれています。織田ガバナーはこういうお話をされました。

私は幼稚園で子供達を38年お預かりしています。子供達にもよく例え話をします。

「三人の職人さんが煉瓦を積んでいます。

一人目の人に聞きます。『あなたは何をしているのですか?』『お金を稼ぐために煉瓦を積んでいるのさ』

二人目の人に聞きます。彼は『言われたとおりに煉瓦をコツコツ積んでいるのですよ』

三人目の人に聞きます。三人目の人は「このレンガを積んでここに素敵な学校を造るんですよ。子どもたちの喜ぶ顔が見たくってね!」三人目の職人さんは顔がキラキラと輝いていました」

ロータリーの職業奉仕は、三番目の職人さんのような姿を描いているのではないかと思います。

最近こんな言葉に出会いました。「教えるということは未来とともに語ることです」

私の22年間のロータリーの歴史の中であと3人ほど心に残っている方がいます。

お1人はこのネクタイをくださった落合さんという方です。私のネクタイを地味だと言って、自分のしていたネクタイをはずして私にこれを結んでくれました。

もう1人は村越会員のお父様です。私の義理の叔父にあたります。本当にジェントルで優しい方でした。僕が入会して、二人だけでいる時に「公三さんが入ったら本当にロータリーがよくなるから」と励ましと、これから頑張れよという意味の希望を与えてくれる言葉をくださいました。申し上げにくい事ですが、僕なんか本当に力のない挫折だらけの人生でしたから、今でも忘れられません。

最後は尾上先生です。最初に会長をやらせていただいた時に「ロータリーのバッジが重くなるように頑張って」と言われました。僕は自分が重みのない、出来損ないだから言われたのかなと複雑な気持ちになりましたが、実はそうではなく、君ならできるかもしれないという期待の気持ちでかけてくださいました。

3人の方の底流に何があるかという、深い愛です。

尾上先生が話してくださったことで忘れられない話があります。東京大空襲の時に、ある少女に助けを求められ、結局助けなくて逃げたことを悔やまれて、涙を流しながら話してくださいました。

愛情ってなんだろうという時に、ずっとずっと忘れないということではないかと思います。私が受けたたくさんの愛をこれから少しお戻ししないといけないのかなと思っています。

ありがとうございました。



上村文明会員

今日はガバナー、皆様、お忙しい中、本当にありがとうございます。

考えてみると今回、ロータリーモーメントを話すメンバーは皆、会長を2回やっています。

私もロータリーに入会してから22年になります。滝日会長の時に入会させていただきました。JCのメンバーからと、商業活動と一緒に活動した方から勧誘を受けて入らざるを得なくなりました。

それから10年たって会長をやり、それから5年目に2回目の会長をやりました。その間、50周年の式典があり、打ち合わせ等たいへんでしたが大変楽しい50周年ができました。

10年目で会長をやった時は、いきなりCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)をやれということで、どうやればいいのかかわからないまま会長が終わりました。本来であればDLPからCLPになればよかったのかなと思いますが、今となっては普通の言葉になってしまっていて、今は各クラブとの連携がよくできていて、素晴らしい地区になっているなと思っています。

白鳥ガバナーは次のガバナーが決まらずに2度ガバナーをされました。人間的にも素晴らしい方でした。

我孫子クラブの活動で印象に残っているのは、社会奉仕活動として利根川河川敷で行なったレンゲ祭りです。3、4年やりました。市で広報を出して参加者を募集したのですが、なかなか集まらず鈴木会員の幼稚園に大変お世話になりました。手作りの凧を作って凧揚げ、はちみつを絞って食べたり、ロータリーのメンバーと家族で作った豚汁を提供しました。私からすると孫の世代が楽しんでくれて、大変良かったです。当時はクラブは単年度制なんだから、長くやっちゃだめだという先輩もいらっしゃいましたが、それはそれでよかったと思います。

昨年、11グループのガバナー補佐を引き受けて地区に出向させていただきました。本当に私にとって大きな財産となりました。大変でしたけれども、地区のこともよくわかりました。外から我孫子クラブを見ることができました。我孫子クラブのいい点、悪い点を客観的に見るできるようになりました。今年、藤本会員が国際奉仕で地区に出てくださいっていますが、これからもたくさん増やしていただけたらと思います。

先日、RLIのコースを修了しました。特に若い人たちにRLIを受けていただきたいと思います。ロータリークラブの本当の奉仕活動とはどういうことか、RLIの授業を受けてよくわかりました。

クラブの中期計画で5年後には40名にしたいというお話がありました。元気で強くて活力のあるクラブを作る一助になればいいなと思います。

ありがとうございました。



講評 2790地区 漆原摂子ガバナー

皆様、ありがとうございました。

特にこちらのクラブは入会5年未満の方が半分くらいとのことですので、ベテラン会員の方のお話は胸に響いたのではないかと思います。

私も東京クラブにメイクアップに行った時は、人数と格式の高さにびっくりしました。素晴らしいクラブでした。

織田ガバナー、懐かしいです。ご逝去されて本当に残念です。あの方は職業奉仕を本当に貫かれました。

CLPの2年前にDLPがRIから義務化になり、DLPがこの地区では浸透していなかったもので、いろいろ物議をかもしている状況です。これは私も含め、代々の地区役員が反省すべきところかなと思っています。

新会員候補がいらして、ロータリーって何やっている所?と聞かれた時に、1905年にポール・ハリスが4人で始めて、という話をしてもいいのですが、ロータリーで自分が体験したい事、忘れられない事を自分の言葉で話すのが何よりも勧誘の殺し文句になると思います。皆さんも、このクラブの中でどんどん良い体験をされて、いい思い出を作っていて、他人を引き入れるような話をご準備していただければと思います。

実は私の所属する勝浦クラブも戦略計画委員会はずっとなく、昨年あわてて仮委員会を作り、本格的に始動しているのは今年からで、おたおたやっている状況です。

広報公共イメージ、国際奉仕等、皆さんのご意見を反映しながらやっていきたいという村越会長のお話、木村前年度会長の話された課題、こういったものが戦略計画を立てる大きな種になっていくと思います。こういったクラブ協議会で皆様のご意見を受けて戦略計画委員会で整えていくことが本当に大切なことだなと考えています。どうか、今年度内には方向性ができるように祈念申し上げます。

本日は長時間、誠にありがとうございました。

閉会の言葉 村越会長

皆さん、長時間に渡り、ありがとうございました。私のロータリーモーメント、よかったです。

私ごとで恐縮なのですが、昨年に父が他界しまして、実は一昨日の日曜日に一周忌の法要をしました。鈴木会員が父のことに触れてくださり、やはり、このお三方にロータリーモーメントを語っていただいてよかったと思いました。

一番最初に戦略計画、未来のことを発表させていただいたのですが、浮かんだことは温故知新という言葉でした。古きを訪ね、新しきを知るということがやはり大切なのかなと思った次第です。

本日は漆原ガバナー、磯野実行委員長、鈴木ガバナー補佐、森市補佐幹事、我孫子クラブの例会、そしてクラブ協議会にご出席いただき本当にありがとうございました。素晴らしい時間を共有できたと思います。ありがとうございました。

メンバーの皆さんも本当にありがとうございました。

以上をもちましてクラブ協議会を終了いたします。



今週の表紙「旧村川別荘」千葉県我孫子市寿2丁目27番9号

手賀沼を愛した帝大教授、村川堅固が大正10年に設けた別荘です。子之神大黒天のすぐ隣の、沼を一望できる丘の中腹にあります。かつて我孫子には数多くの別荘がありましたが、当時のまま残っているのはここだけです。我孫子市の文化財に指定されており、市民ボランティアによるガイドも行われています。毎年9月には恒例の“竹灯籠の夕べ”が開催され、多くの来場者で賑わいます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。